

2017 年度 同志社大学・早稲田大学 学部交流学生募集要項

同志社大学・早稲田大学間の学生交流協定に基づき、2017 年度同志社大学への派遣生の募集を行います。以下の事項をよく確認のうえ、必要書類を各所属学部事務所へ提出してください。

1. 概 要

- (1)同志社大学に学部交流学生として以下のいずれかの期間在籍し、授業科目の履修および単位の修得ができます。
 - ◆2017 年 4 月 1 日 から 2018 年 3 月 31 日 まで 1 年間
 - ◆2017 年 4 月 1 日 から 2017 年 9 月 20 日 まで 半年間
 - ◆2017 年 9 月 21 日 から 2018 年 3 月 31 日 まで 半年間
- (2) 同志社大学で修得した単位は、所属学部が認める範囲内において単位の認定されます。ただし、修得した単位の取扱いは、学部により異なりますので、応募にあたっては同志社大学での希望学部、履修予定科目等について所属学部事務所で事前に相談してください。
- (3)履修できる授業科目の範囲、修得できる単位数、履修方法および成績評価等は、原則として同志社大学の正規学生と同様の取扱いとなります。

2. 募集人数・受入学部

- (1)全学部で年換算 10 名程度
- (2)同志社大学の神学部、文学部、社会学部、法学部、経済学部、商学部、政策学部、文化情報学部、理工学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部、グローバル地域文化学部、国際教育インスティテュート (ILA) を対象とします。
 - <国際教育インスティテュートの受入制限>
 - 授業は全て英語により行われます。
 - 出願時には下記いずれかの英語スコアを有することが条件となります。
 - ・TOEFL iBT® 85 or above
 - ・IELTS Academic Module 6.5 or above

3. 応募資格

2017 年 4 月 1 日現在で、2 年生以上の学部学生

4. 応募方法

- (1)受付期間 2016 年 9 月 23 日 (金) ～ 2016 年 10 月 13 日 (木)
※2017 年度秋学期 (2017 年 9 月 21 日～2018 年 3 月末) 募集は
2017 年 4 月以降に行います。
- (2)受付場所 所属学部事務所
- (3)提出書類 願書 (様式①) 保証人の同意書 (様式②)

5. 選 考

所属学部で、学部推薦者を選考し、その後、大学全体としての派遣候補学生を決定します。学部における選考日、推薦結果発表日等は各学部にお問合せください。

- ・ 大学 派遣候補学生の決定 2016年11月下旬
- ・ 同志社大学側受入決定（最終決定） 2016年12月下旬～2017年1月中旬
※2017年度秋学期（2017年9月～2018年3月）派遣は除きます。

6. 経 費

- (1) 通常どおり早稲田大学の学費を納入してください。
- (2) 同志社大学の学費は免除となります。ただし、授業科目ごとに徴収する実験実習料等の実費は、自己負担となります。
- (3) 宿舍、その他の経費は自己負担となります。（宿舍を希望する場合は同志社大学学生支援センター今出川校地学生生活課が窓口となります。）

7. その他

- ・ 履修希望科目等については、同志社大学 Web シラバス (<http://syllabus.doshisha.ac.jp/>)にて 2016 年度の情報を参照し、所属学部事務所で事前に相談した上で、願書に記入してください。（2016 年度同志社大学学部履修要項は、ポータルオフィス・理工センター教学支援課（西早稲田キャンパス 51 号館 1 階）・所沢総合事務センターで閲覧することができます。）
- ・ 国際教育インスティテュートで受入れをする交流学生については、同志社大学における所属学部（文・社会・法・経済・商・政策学部）を同志社大学において決定します。ただし、いずれの学部になっても履修上、所属学部の制約を受けるものではなく、国際教育インスティテュート科目を履修することとなります。
科目のシラバスは
<http://ila.doshisha.ac.jp/en/academics/syllabi.html> を参照して下さい。
履修相談、科目登録等の在学中の全ての手続き等も国際教育インスティテュートにおいて対応します。

<個人情報取り扱いについて>

○応募書類に記載された個人情報は本交流学生制度に関する処理において早稲田大学から同志社大学へと提供し、交流学生制度の範囲内においてのみ利用致します。

その他、統計値が必要となる場合に利用することもあります。その場合は個人を識別・特定できない形態で使用します。

○個人情報は目的の範囲内で利用するとともに適切な方法で管理し、第三者への目的外の開示・提供は「法令の定めがあるとき」または「本人の同意があるとき」のみに限ります。

以 上